

令和6年度 東北地区高等学校PTA連合会 広報紙コンクール
審査結果（賞別）

賞	県	学 校 名	紙名・号数
最優秀賞	青森	五所川原農林	「涓流」第47号（R6）
優 秀 賞	宮城	気仙沼向洋	「こうよう」No.46
	青森	五所川原	「はるにれ」第98号
	福島	若松商業	「明浄」No.76
	山形	酒田西	「はまなす」71号
	宮城	登米総合産業	「登米総産」第19号
	宮城	気仙沼	「気高PTA会報」VOL.13
優 良 賞	秋田	ゆり支援学校	校報「ゆり」No.76
	岩手	盛岡北	「MORIKITA」第6号
	山形	高畠	「まほろば」95号
	福島	いわき湯本	「PTA News」Vol.4
	山形	山形北	「山形北高PTA会報」第83号
	岩手	盛岡第二	「盛岡二高PTA通信」第2号
奨 励 賞	秋田	秋田令和	「令和」vol.9
	青森	弘前工業	「黄鷹」第61号
	岩手	黒沢尻北	「黒陵」vol.146
	秋田	秋田明德館	「明德館」
	福島	喜多方桐桜	「絆」第24号

* 表彰は例年東北大会の席上行っております。

1 青森県立五所川原農林高等学校 「涓流」

左開きの扉で、見出しや記事、表ものなどがほぼ横組みで統一されており、うまくブロック分けされた、読みやすいレイアウトに仕上がっている。12ページの枠内で、それぞれのコンテンツがきっちり性格づけられているのも目を引いた。

2 青森県立五所川原高等学校 「はるにれ」

前半の4ページは、定番の会長らのあいさつ、PTA活動の紹介、部会長あいさつなどに割き、まずPTA活動や保護者の声を伝える広報紙本来の役割を果たしていると感じた。学校行事やイベントなどは写真グラフ形式で、4ページを使っているが、このページにも、写真を説明する記事があった方がよい。これらイベントがいつ行われた開催日も大事な情報で、それらが無いのが物足りない。

3 青森県立弘前工業高校 「黄鷹」

「ものづくりコンテスト」の学校の特色を紹介するコーナーが興味深かった。運動会や遠足など定番系のイベントに紙幅を取られて、地味な扱いになったのが残念。A4判で観音開きのレイアウトで編集しているが、その特徴を生かしているとは言い切れない。

4 岩手県立黒沢尻北高等学校 「黒陵」

百周年にちなんだ企画「高校時代今昔物語」は、意欲的な内容だったと評価したい。2～3面にちりばめた学校の歴史を伝える資料写真が、とても小さな扱いになっていたのが残念。めくって4～5面はアンケートの詳細を活字で押し込んだ感じで、せっかくの企画をレイアウト的に生かし切れていないと感じた。

5 岩手県立盛岡北高等学校 「MOEIKITA」

全体的にすっきりまとまったレイアウトで、写真と記事のメリハリも効いている。各面ごとに記事の執筆者の顔写真を添えており、うまく紙面の統一性を図る工夫も目を引いた。編集者の紙面作りに対するセンスの高さを感じた。ひとつ残念なのが、各ページにナンバリングがされていない点。これは最低限で必要な情報。

6 岩手県立盛岡第二高等学校 「盛岡二高PTA通信」

他校の作品と比べて、記事のボリュームが多く、安易にビジュアルを前に出さない、オーソドックスな編集方針に好感をもった。PTAの活動報告のほか、教師と親御さんの学年ごとのペア寄稿も読み応えがあった。「保健室ってどんなところ？」という特集ページは面白い企画なのだが、ここだけ他のページと比べ、活字サイズが大きく、紙面全体の中でバランスを欠いた感じになったのが残念。

7 宮城県気仙沼向洋高等学校 「こうよう」

16ページのボリュームある紙面だった。写真や記事のブレンドもほどよい感じ。ページによって、記事部分の活字サイズや行間がまちまちだったのが気になった。入学式から始まり体育祭などの学校行事を写真のみで4ページに渡り展開しているが、これらイベントリポートを引き立てる「記事」があった方が良かったのではと感じた。

8 宮城県気仙沼高等学校 「気高PTA会報」

PTAの活動報告にしっかりとスペースを確保して「広報紙」としての本来の役割を意識した編集方針と感じた。ただし、記事のフォントサイズがやや小さいのが気になったが、記事のボリュームを考えればやむなし。球技大会や文化祭のレポートは、4ページにわたっているが、写真サイズが小さすぎ、詰め込み感があり、レイアウトを含め、素材を厳選するなど、より工夫が必要ではないかと感じた。

9 宮城県登米総合産業高等学校 「登米総産」

生徒の健康を支える養護教諭らのインタビュー記事を興味深く読んだ。ポーズをお願いした(?) 3人のメイン写真も紙面を引き立てている。全国大会・東北大会に出場した生徒の2ページ特集も、写真・記事ともうまくまとまっている。生徒のコメントを吹き出しでレイアウトした「あなたの自慢を教えて」も意欲的な内容なのだが、企画の内容を短くまとめたリード記事があれば、もっと良くなった。

10 秋田令和高等学校 「令和」

職員紹介、PTAの活動報告、体育大会、修学旅行など、定番系のコンテンツをメインに、奇をてらうことなく、基本的な部分をしっかりとおさえた内容で紙面をつくっている。欲を言えば1ページでもよいので、アンケートなどの企画特集があってもよかった。

11 秋田明德館高等学校 「明德館」

4ページと限られたスペースながら、学校行事やアンケート特集、PTA活動報告などをうまくまとめている。記事の活字も意識してなのか、やや大きめのフォントを使っており、読みやすい。スペースの関係から、学校祭など写真がどうしても小ぶりになってしまったのが残念。

12 ゆり支援学校 「校報ゆり」

児童・生徒にしっかりと寄り添う学校とPTAの姿勢が紙面から伝わってきた。2ページで展開している「2学期の学習の様子から」は、短い記事と写真でうまく編集できている。残念な点だが、フロント面に「校報ゆり」とあったが、最初紙面を手にした時に、ページのどこにも学校名の記載がなく、一瞬どの学校なのか分からなかった。これはフロント面に必須の基本情報だと思う。

13 山形県立山形北高等学校 「山形北高PTA会報」

様々な学校行事はフロント面で組み写真とし、各学年の「保護者の声」を2ページで展開している。このような保護者らの寄稿を多く紙面にさいているのは、他校と比べて、目を引く編集内容だったと思う。レイアウト上の技術的な問題だが、記事によってフォントサイズや文字組み数がまちまちだったところがあり、紙面が多少ちぐはぐな印象を受けたのが気になった。

14 山形県立高畠高等学校 「まほろば」

「保護者等による学校評価アンケート」を1ページ展開しているが、より多くの情報を詰め込むためか、ここだけフォントサイズが他の面より突出して小さく、理解を助けるはずの横棒グラフも、決して見やすいつくりではなかった。

15 山形県立酒田西高等学校 「はまなす」

特集「もっと知りたい親子のギャップ」を興味深く読んだ。それぞれの質問項目をシンプルなグラフに落とし込み、短いコメントを添えて、アンケート結果をシンプルにまとめている。PTAのとりくみ、学校行事の紹介などもページごとにきっちり区分けしている編集も工夫が凝らされている。フロント面の右下にコンテンツ案内を載せているが、何ページに掲載しているという情報がなかったのが残念。

16 福島県立若松商業高等学校 「明浄」

写真を多用したグラフ雑誌のような紙面編成となっている。活字部分は寄稿が大半を占めており、言い換えると「ニュースしている記事」といえそうな活字が皆無だったのが残念。写真を多く貼り付けるだけで、委員会活動や授業のもようが十分に読者に伝わるかは疑問を感じる。校舎の立体レイアウトと顔写真付きで組み合わせた職員紹介は、学校の基本情報発信として、よい企画だったと思う。

17 福島県立喜多方桐桜高等学校 「絆」

タブロイド判の大きな紙面の特性を生かした編集になっている。写真や記事をほどよくブレンドしており、カラフルな見出しも効果的。ただ、より多くの生徒を載せたいという意図もあるのだろうが、構図が集合写真がかなり数を占めていたのが気になった。本来、載せるべきPTA活動の報告などのコンテンツが皆無で、PTA広報紙というより、学校行事紹介のグラフ紙みたいになっていた点、ポイントを下げた。

18 福島県立いわき湯本高等学校 「PTA News」

閉校となる遠野校舎と、スマートフォンアンケートの2つの特集を掲載している。前者は見開き2ページの左側で展開しているが、学校行事のこれでもかというほど掲載している写真にお互い埋没してしまったのが残念。アンケートは結果をグラフ化して掲載しているが、このデータをどう評価するか、記事によるまとめがあれば、なお良かった。